

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48' 39"	
				経度	137° 28' 18"	
下黒沢橋 (フリガナ)シモクロサワバシ	村道第38号線	長野県木曽郡王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長野県 王滝村	2017.11.26	下黒沢	無	一般道	その他	無し

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原 潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	モルタル欠損	写真19 支承0202			
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 支承モルタルに欠損が生じている。 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1986年	30m	4.0m

起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

